

下連雀五丁目第二地区開発事業に伴う  
対応に関する説明会（第一小）

**議 事 録** ※質疑応答につきましては、発言の要旨を記録したものです。

日 時 平成 30 年 3 月 16 日（金）午後 6 時 30 分～午後 7 時 5 分  
会 場 第一小学校体育館  
参加者 保護者及び近隣住民等 18 名

## 1 開 会

## 2 教育部長あいさつ

三鷹市内では全体的に児童・生徒数の増加傾向が続いております。特に、三鷹の森学園の高山小学校区域におきましては、近隣のマンション建設等が相次ぎ、児童・生徒数が急増したために、校庭に時限付き新校舎を建設し、今年度から対応を図ったところでございます。

一方、隣接する東三鷹学園の第一小学校・第六中学校の通学区域におきましては、近年児童・生徒数の減少が続いておりまして、特に第一小学校におきましては、平成 20 年度をピークに現在まで 200 人近くの児童数が減少しているところでございます。今後もさらに減少が続いていくと推計しているところでございます。そうした中、新聞報道でもご案内かとは思いますが、下連雀五丁目の日本無線三鷹製作所跡地に大規模な共同住宅建設が計画されておりまして、すでにまちづくり条例に基づいて、開発事業計画の対応の説明が行われているところでございます。そのような情報を踏まえて市教育委員会でも対応を検討してきたところでございます。

そして、検討の結果、児童・生徒数の増加が見込まれる下連雀五丁目当該地区においては、全市的な視点に立って適正な学習環境の確保を図るため、現在の三鷹の森学園高山小学校・第三中学校の通学区域から、児童・生徒数が減少している東三鷹学園第一小学校・第六中学校へと通学区域の変更を行うことについて、教育委員会として、1 月 5 日に「下連雀五丁目第二地区開発事業への対応方針」として定めまして、2 月 8 日の市議会文教委員会でも、報告させていただきました。その後平成 30 年度施政方針に掲げ、現在開催中の市議会第一回定例会の本会議でも、お示したところでございます。

変更にあたりましては、保護者や地域の皆さまに丁寧な説明を行って、ご理解をいただき、適正な学習環境の確保とともに、通学路の安全対策等についても、検討を進めてまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

## 3 出席者紹介

#### 4 概要説明（学務課長）

それでは、下連雀五丁目第二地区日本無線三鷹製作所跡地に開発事業、共同住宅の建設がされるということで、この開発事業でございますが、下連雀五丁目の日本無線三鷹製作所跡地のうち、A地区部分に678戸の共同住宅（マンション）と商業施設等の建設が計画されております。事業期間は、平成33年2月末まで予定されています。

この下連雀五丁目第二地区のA地区及びB・C地区とその西側の地域については、現在の通学区域は高山小学校及び第三中学校となっております。

教育委員会では、市内で開発事業が計画された際に、児童数の推計を行っております。推計は、市内の人口動態の傾向や近年の市内の共同住宅が建設された際の児童が入居する割合、転居率、入学率などを用いて算出しております。

この開発事業に伴う推計、児童数への影響でございますが、事業者より平成32年（2020年）3月より、先行引渡しを開始する予定と聞いております。このことから、この建設に伴って影響が生じると想定される初年度（平成32年度（2020年度））には、60人から75人程度の増加、ピーク時と思われる平成39年（2027年）から40年度（2028年度）には、最大で、320人から350人程度増加するのではないかと見込んでおります。

この共同住宅による児童数の見込みですが、想定される32年度から徐々に増加していきまして、39・40年度にピークを迎え、平成41年度以降は減少に転じていくと見込んでおります。

実際のこの児童数の増加への対応でございますが、通学区域である高山小学校は、児童数が今後も増加が見込まれることから、これ以上の受け入れは困難であると見込んでおります。

また、隣接する学校で受け入れた場合の推計ですが、北側にあります第四小、西側にあります第六小学校においては、既存校舎での受け入れが可能な学級数を超えてしまうということで、受け入れが困難であると見込んでいます。

第一小学校の場合、20年度以降児童数が年々減少している状況があるということで、第一小学校で受け入れた場合、最大で24学級ということで見込んでおりますが、多目的室とコンピュータ室の普通教室への転用により、25学級までの確保が可能であることから、受け入れが可能であると判断しております。

これまでの第一小学校の児童数の推移ですが、ピーク時に795人、24学級になった経緯があります。その後、年々減少しており、今後も減少が見込まれ、この共同住宅の建設による児童数の推計では、ピーク時が775人、24学級と見込んでいるところですので、受け入れが可能と判断しました。

なお、第六中学校についても、生徒数が年々減少している状況があり、今後の生徒数・学級数の状況から、この通学区域の変更による対応は可能であると考えております。

第六中学校は、わずかではありますが減少傾向が見込まれまして、その後この共同住宅の影響によって、38年度以降は増加が見込まれます。それから、中学校の場合は小学校のピークより、だいたい5、6年先ぐらいがピークを迎えるということになりますので、第六中学校のピークは平成42年度以降、少し先になりますが、44年度にピークを迎えますが、大幅な生徒数の増加は見込まれず、対応が可能と判断したところです。

このような状況から通学区域の変更を検討しております。A地区とB・C地区の3つがあるのですが、B・C地区については住宅建設の制限を加えておりまして、ここは児童数に影響を与えない地域になります。ただ、通学区域の連続性から、このA・B・C地区を、高山小学校・第三中学校から第一小学校・第六中学校への通学区域の変更により対応することといたします。

また、A・B・C地区を第一小学校区へ変更することに伴いまして、第二地区の西側隣接地域が飛び地となってしまいます。この西側隣接地域については、第六小学校への変更により、対応することといたしました。

この通学区域の変更に伴う課題と今後の対応として、まず、第一小学校で受け入れる条件としては、特別教室の普通教室への転用に伴う教育環境の整備があげられます。これについては、学校と協議しながら、学習環境に影響がないよう整備をまいります。

次に、通学路の点検・整備による安全確保でございます。こちらは、市の都市整備部や三鷹警察署と協議しながら進めてまいります。

それから先ほど申し上げました、西側隣接地域についてですが、この地域は、現在45人の児童が就学している地域です。高山小学校と、指定校変更で第四小学校と第六小学校へ通学している児童がいる地域でもあります。この地域の学区を、第一小学校や第四小学校へ変更した場合については、こちらも最大学級数に影響がでることから、この西側の地域については、受け入れで可能であり、通学距離が近距離となる、第六小学校への変更により対応することとしました。

なお、第四小・高山小・第三中学校に就学している児童・生徒やお兄さんやお姉さんが就学している場合は、それぞれの学校への就学を可能としてまいります。

最後に、今後のスケジュールですが、通学区域の変更は、児童・生徒をはじめ、保護者や地域の皆さまにも大きな影響を与えることとなりますので、関係する学校の保護者や関係する地域の皆さまへの説明会等を実施し、周知を図ってまいります。

## 5 質疑応答

|      |  |
|------|--|
| ①質問者 | 第一小の現状が何クラスで、これが学区変更によって何クラスになると見込まれているのでしょうか。   |
| 学務課長 | 今年度（29年度）は19学級です。入居が始まり、増えていく中で、最大で24学級になると推計しています。  |
| ②質問者 | 300人程度増というのは、これまでの推計に基づいてとのことですが、これまでの三鷹市の推計がどれくらい正しかったのか。例えば350人の推計が、1割、2割ずれた途端にこの計画が破たんしないか心配しています。今までであったのでしょうか。  |
| 学務課長 | <p>市全体の人口動態の傾向や近年の市内の共同住宅が建設された際の児童の入居割合などを用いて推計を行っております。また、この推計は、最新のデータをもとに標準値から最大値というようにある程度幅をもたせて推計しています。推計値は、毎年更新しており、毎年推計をしていく中でより精度の高い形にしています。</p> <p>実際、入居が始まれば就学している児童や未就学児のお子さんの具体的な数字が把握できますので、そこで必要なことがあれば、さらに状況を確認しながら対応していくということも考えております。</p> |
| ③質問者 | 人数が増え、他の学校で受け入れられない、校舎の対応は学習室の転用などでわかるのですが、グラウンドは、現状で見えても昼休みや中休みは、ものすごく混雑していて、これ以上増えて安全に遊べるような気はしないのですが、この点はどういう対応をお考えでしょうか。   |
| 学務課長 | 学校と協議を進めて、必要な対策等があれば、対応していきたいと思います。過去に、児童数が増えて、最大で795人、24学級になった経緯もありますから、そういった状況も把握しながら対応していきたいと思います。  |
| ③質問者 | 現状では、具体的な対応を考えておられないということですか。  |
| 学務課長 | これまでのピーク、過去のピークは超えない推計なので、基本的には対応できると考えております。段階的に増えていくと思いますので、何か必要なものが出てくるということであれば、そこは学校と具体的に協議をして進めていくことになるかと思えます。   |

|      |   |
|------|---|
| ③質問者 | 現状のグラウンドを見ている限りでは、これで1クラスでも増えて、もうこれだけでも大変だなと、私自身思っているのですが、なるべく早めに対策なりを考えていただいて、我々に周知していただきたいと思っております。   |
| ④質問者 | 最大24学級とあるのですが、25学級まで受け入れ可能とあります。その見込がずれてさきほどおっしゃったように1割2割増えてもっと増えた、結果的にもっと増えた場合に教室が足りないということをどうするのか。多目的室・コンピュータ室を普通教室に転用した場合に、今まで使っていたものを、どう対応するのかをお聞きしたい。  |
| 学務課長 | <p>見込みでは最大24学級で、上振れした場合でも、25学級までは確保できると考えていますが、さらにそれを超えた場合は、活動スペースなどの転用により何よりも普通教室の確保を優先してさらなる検討を行っていく。</p> <p>それから、使用していた教室を転用した場合の対応ですが、コンピュータ室であれば、パソコン環境の整備が必要となります。また、多目的室であれば、他の特別教室の併用等によって、これは学校の協力を得ながら対応していきます。それから、ピーク時があって、そこから落ち着いていく、例えば24学級がそのままずっと何年間も続くということではないので、また徐々に戻していけると考えています。</p>       |
| ⑤質問者 | 第六中学校の生徒数の見込みですが、平均しているように見えているのですが、一小が増えても六中の生徒数が増えないのならば、高山小の児童数が減少傾向にあるということなのではないでしょうか。   |
| 学務課長 | マンション建設の傾向、今回のマンションはかなり大きい規模ですが、例えば高山小学区のように何棟か建設されたときの数字、それからこれまでの過去のマンション建設で、ある程度大規模で戸数が多いマンションができた場合に、先に小学校の児童数が増えて、中学校の場合は、早くても4年後、5・6年後くらいにピークの時期になっていきます。減少していくタイミングもありますし、増えていくタイミングもあって、第六中学校の場合はずっと横ばいの推計になっているのですが、この後にピークになりますが、これまでの第六中学校の一番多かった（近年だと26年度が一番多かった）時期よりも少ないと見込んでいますので、対応が可能であると考えております。 |
| ⑥質問者 | 工事期間が平成30年から平成33年2月末日までということで、  |

|        |  |
|--------|--|
|        | <p>初年度の受入が平成 32 年度 60 人から 75 人程度の増となっているのですが、この一年くらいの間は工事も並行して行われるということになりますよね、通学のときは大丈夫だと思いますが、帰宅時のときの通学路に大きいダンプカーが通ったり、すごく危険だと思うのですが、その辺をすごく注意して、入ってくる子どもたち、そしてこの近隣で遊ぶ子どもたちも増えてくると思うので、その辺をしっかりと説明をしていただけるのでしょうか。</p>  |
| 学務課長   | <p>私どもも、この開発・建設に関しては、事業者の方とも意見交換をしております。実際、この 2 年間・3 年間の期間の中でどういった形になるのか、伺ったのですが、マンションの建物の外観的にはできあがっている。先行販売も実施する。残りの部分というのは、内装等の部分とのことです。ですから、その 32 年 4 月以降の段階で、大きなトラックが入る、重機が入るといような工事はないようです。もちろんそうはいつでも、事業者が工事をしているということはあるので、安全確保は、確実に行っていただけるように、事業者には申し入れをしていきます。</p> |
| ⑦質問者   | <p>商業施設が入るのですよね。その商業施設を利用するかたの駐車場や、エリアもわかって、計画段階でしっかり安全が確保されるのですか。</p>   |
| 都市計画課長 | <p>事業者とは、マンション以外に子育ての支援施設、学童、保育園などの設置について協議しています。加えて、商業施設についても設置をしていただくことになっておりまして、商業施設に対する車の出入りにつきましては、連雀通りからの出入りのみということで協議を進めています。当然ながらしっかりと安全確保できる計画とするため、警察の指導を受けて、歩行者の安全を確保できるように、協議を進めています。</p>  |
| ⑧質問者   | <p>弘済園通りについて、通学路にあたる道路で小学校に向かって、左側は大きなマンションがあって、歩道が整備されていますが、右側には狭い歩道しかないと思うのですが、今後通学路になるのにあたって、そこが広くなるという予定はありますか。</p>  |
| 道路交通課長 | <p>弘済園通りの歩道については、新しくできる今回のマンションから、一小の方に向かって人見街道まで、将来的には二股までは歩道が連続します。</p>  |

## 6 閉会